

第1回 シンポジウム記録 アトピー性皮膚炎の治療効果判定法

皮膚第38巻 増刊18号

セッション1

1. アトピー性皮膚炎の治療の現状	1
	小塚 雄民
2. アトピー性皮膚炎を対象とした臨床試験の現状と問題点	5
	川島 真
3. アトピー性皮膚炎における症例研究の問題点	7
	佐藤 健二 南 宏典 北島 進司 辻 卓夫
4. アトピー性皮膚炎の自然緩解について	13
	阿南 貞雄 山本 憲嗣
5. アトピー性皮膚炎治療研究における二重盲検試験の問題点と困難	17
	遠藤 薫 角辻ほづみ 吹角 隆之 足立 準 青木 敏之
特別発言	23
	松下 修
総合討論	24

特別講演1

ケース・スタディの意義と限界 一疫学的手法の導入一	27
	津熊 秀明

セッション2

6. アトピー性皮膚炎における皮疹の重症度スコアの有用性	36
	花田 二郎 堀越 貴志
7. アトピー性皮膚炎の重症度簡便法と PUVA 療法における利用	41
	吉池 高志 高森 建二
8. アトピー性皮膚炎の顔面紅斑のサーモグラフィーによる評価	47
	関 太輔 森松 進 諸橋 正昭
9. カラー写真によるアトピー性皮膚炎の皮疹の評価	53
	深谷 元継
10. スケッチによるアトピー性皮膚炎の皮膚症状の評価	57
	平野 真也 加藤 佳子 末廣 晃宏 加藤 則人 安野 洋一

11. Derma-Spectrometer によるアトピー性皮膚炎治療の評価の試み	64
	水谷 仁 野村久美子 西口 健 高橋眞智子 梅田 由美 清水 正之

総合討論	69
------	----

セッション3

12. VAS 法 (Visual Analogue Scale) を用いた痒みの評価法について	71
	山田 秀和 野田 剛弘 松倉 正治 杉原 和子 弓立 達夫 手塚 正

13. 成人型アトピー性皮膚炎の重症度点数化法とADASI scoreとの比較検討	78
横関 博雄 佐藤 貴浩 片山 一朗 西岡 清	
14. HQOL評価によるアトピー性皮膚炎病勢の把握	80
角辻 ほづみ 遠藤 薫 吹角 隆之 足立 準 青木 敏之	
特別講演 2	
Visual Analogue Scales 一測定不可能なものを測る有用な手段	86
E. C. Huskisson	
セッション 4	
15. アトピー性皮膚炎の全般的重症度、短期病勢、長期病勢の検査値による評価	93
一血清総 IgE 値、末梢血好酸球数、血清 ECP 値、血清 MBP 値の検討から— 大砂 博之 竹川 清 大沼 すみ 北村 和子 池澤 善郎	
16. アトピー性皮膚炎における末梢血液細胞中のヒスタミン量の増加と病勢との関連	100
秀 道広 岡野 伸二 山本 昇壯	
17. アトピー性皮膚炎における好酸球の動態	107
宮里 稔 津田 真五	
18. 血清 LDH (乳酸脱水素酵素) 値によるアトピー性皮膚炎の病勢の評価	115
向井 秀樹 清野 みき 長瀬 彰夫 新井 達 平松 正浩	
19. プリックテスト前後での皮膚組織微小循環の変化の検討	121
三浦 克志 中野 秀至 椿 俊和 坂口 直哉 田知本 寛 勝沼 俊雄 海老澤元宏 恩田 威文 飯倉 洋治	
20. アトピー性皮膚炎における黄色ブドウ球菌のスタンプ法による検討	130
秋山 尚範 戸井洋一郎 多田 譲治 荒田 次郎	
ま と め	135
索 引	139
会 則	143
世話人名簿	145
謝 辞	146

第2回 シンポジウム記録 ダニアレルギーとアトピー性皮膚炎

皮膚第39巻 増刊19号

セッション1

1. アトピー性皮膚炎患者のダニアレルギー検査結果と治療経験	1
杉浦真理子 早川 律子 鈴木 真理	
2. アトピー性皮膚炎患者末梢血単核球のダニ抗原、サブスタンスPに対する反応性	8
横手 隆一、戸倉 新樹、古川 福実、瀧川 雅浩	
3. アトピー性皮膚炎における各種外用剤の皮膚バリア機能に対する効果	14
高橋眞智子 水谷 仁 清水 正之	
4. 国立名古屋病院の寝具のチリダニ汚染状況の通年調査結果	19
飯田 典子 深谷 元継	
5. 防ダニ寝具のダニ抗原量の長期的観察	24
幸寺 恒敏 松井 浩一	
6. IgE および sICAM-1 の推移からみた防ダニ布団の効果についての検討 防ダニ布団のアトピー性皮膚炎に対する効果と sICAM-1	32
平井 俊二 影下登志郎 小野 友道	
7. 防ダニ布団によるダニ抗原の管理	38
岡田 茂 山本 憲嗣 田中 洋一 片山 一朗	
8. オゾン発生器使用による家塵ダニ除去と臨床効果	40
山本 憲嗣 阿南 貞雄 片山 一朗 下田 智博 山名 敏之	
総合討論	41

セッション2

9. ダニ成分によるアトピー性皮膚炎発症メカニズム	44
田中 洋一 山本 憲嗣 阿南 貞夫 片山 一朗	
10. アトピー性疾患とダニアレルゲン	48
奥平 博一	
11. ヒョウヒダニ2種の分泌する低分子化合物	52
桑原 保正	
12. アトピー性皮膚炎患者における粉碎生ダニパッチテスト及びスクラッチパッチテスト及び α-acaridialのパッチテスト結果	56
桜井 美佐 中山 秀夫 久米井晃子	
13. アトピー性皮膚炎患者の RAST におけるダニと同時陽性アレルゲンの検討	61
大砂 博之 池澤 善郎	
14. ダニアレルギーと HLA およびそれらとアトピー性皮膚炎との関係	67
小澤 明 菅井 順一 宮原 素美 川久保 洋 大城戸宗男 成瀬 妙子 鍵谷 雅彦 猪子 英俊	
総合討論	73

セッション3

15. アトピー性皮膚炎に関わるダニの生態	75
高岡 正敏	

セッション4

16. ダニアレルギー患者宅のダニ相検査法 —MBA法—について	80
岩脇 明英 久米井 晃子 中山 秀夫	
17. ELISAによるヒョウヒダニアレルゲンの定量	88
安枝 浩	
総合討論	93

セッション5

18. ダニ対策による重症アトピー性皮膚炎の治療成績 — 東京における経験 —	94
中山 秀夫 久米井 晃子 海老原 全	

19. アトピー性皮膚炎へのダニ対策の有効性について	103
深谷 元紘	
20. 難治例におけるダニ対策と効果—大阪における結果	108
小塙 雄民	
21. アトピー性皮膚炎における重症度の変動と血清総IgE値の変動に及ぼす掃除を中心とした ダニ除去行動の影響	109
高路 修 山村 有美 古谷 喜義 山本 昇社	
22. アトピー性皮膚炎とダニ抗原両者の多彩な関係は症状と治療に反映される	115
今山 修平 橋爪 民子 宮原 裕子 棚橋 朋子	
上村 陽子 久保田由美子 武石 正昭 福田 英三	
総合討論	121
セッション6	
23. 「ピューリスト®」ふとんと「ミクロガード®」カバーについて	122
宮坂 都公 矢野 哲夫	
24. 特殊防ダニ布団「クリニックふとん」の防ダニ及び防塵効果	128
長谷川 俊道 佐野 真二	
25. 防ダニ寝具『ダニアレルゲンカット®』について	134
白井 秀治 清水 幸人 清水 静	
26. 防ダニ畳プラパール畳®の内容と効果	139
名山 鉄也 有川 和夫	
27. 住宅の視点から考えるダニ対策「快適」から「健康快適」へ	144
伊藤 亮	
28. 防ダニ効果をうたった敷き布団・敷き布団カバーの比較テスト結果	148
善名 孝子	
総合討論	156
ま と め	159
索 引	

第3回 シンポジウム記録

アトピー性皮膚炎と黄色ブドウ球菌

皮膚第40巻 増刊20号

S-1. 黄色ブドウ球菌の疫学	1
平松 啓一	
S-2. <i>Staphylococcus aureus</i> の耐塩性	6
平井 義一 国府島 泉 金政 泰弘	
S-3. 黄色ブドウ球菌が産生する自己溶解酵素の役割	13
杉中 秀壽	
S-4. パルスフィールドゲル電気泳動法を用いた健常人および アトピー性皮膚炎患者鼻腔内に定着する <i>S.aureus</i> 菌株の調査	19
梅田 昭子	
S-5. 黄色ブドウ球菌の生物学的性状および菌株同定に関する検討法について	26
益田 昭吾 関 啓子 櫻田 純次	
S-6. スーパー抗原としての黄色ブドウ球菌毒素 一皮膚での反応一	32
戸倉 新樹	
S-7. スーパー抗原の IN VIVO での作用	39
菅原 俊二	
S-8. <i>Staphylococcus aureus</i> の付着	46
三宅洋一郎	
1. アトピー性皮膚炎患者における staphylococcal enterotoxin 特異 IgE 抗体の臨床的意義	52
平野 真也 末廣 晃宏 加藤 則人 安野 洋一 加藤 博司	
2. アトピー性皮膚炎における黄ブ菌外毒素特異的 IgE 抗体の検討	59
山本 美穂 大砂 博之 武川 るみ 高橋さなみ 大沼 すみ 北村 和子 阪口 雅弘 池澤 善郎	
3. アトピー性皮膚炎(AD)患者から得た黄色ブドウ球菌と皮膚コンダクタンスとの一考察	60
勝山 雅子 浅賀 良雄 北村 和子 大沼 すみ 池澤 善郎	
4. 多発性肺膿瘍を併発したアトピー性皮膚炎の1例	67
竹内 吉男 露木 重明 内田 耕	
5. ヤ-リノレン酸含有アレルギー代用食品によるアトピー性皮膚炎への効果	73
古川富紀子 戸倉 新樹 瀧川 雅浩 森松 文毅	
6. アトピー性皮膚炎と皮表細菌叢に関する一考察	79
森松 進 牧野 輝彦 桧垣 修一 諸橋 正昭	
7. アトピー性皮膚炎の顔面皮膚症状と黄色ブドウ球菌培養	80
中村 悟 横関 博雄 西岡 清	
8. アトピー性皮膚炎の皮疹重症度と病巣部皮膚 <i>Staphylococcus aureus</i> の コロニー数の関係について	85
山田 詠剛 高橋眞智子 水谷 仁 清水 正之	

9. アトピー性皮膚炎における扁桃検出菌の検討	89
清水 良輔 細見 慶和	
10. 精製ツバキ油による黄色ブドウ球菌に対する増殖抑制効果の検討	94
秋元 義幸 濱島 肇 笹津 備規 新井 武利 村上富美子 溝口 昌子	
11. アトピー性皮膚炎患者の皮膚表在菌数に対する β -ツヤプリシンの抗菌作用	99
有馬八重野 早川 律子 加藤 佳美 杉浦真理子 杉浦 啓二 西野 武志	
12. アトピー性皮膚炎におけるスフィンゴ脂質代謝酵素への細菌の感与	102
大西 克典 沖野 望 伊東 信 今山 修平	
13. <i>S.aureus</i> と好酸球活性	107
山田 秀和 弓立 達夫 松倉 正治 手塚 正	
14. 各種薬剤の黄色ブドウ球菌に対する作用: zinc oxide, povidone-iodine, salts について	111
秋山 尚範 山崎 修 神崎 寛子 多田 讓治 荒田 次郎	
15. アトピー性皮膚炎患者の消毒療法によるブドウ球菌対策	117
杉本 和夫 石川 信泰 小川 真司 中村 貢	
小閻 秀旭 黒木 春郎 中野 雅行 香川 昌平	
16. 重症アトピー性皮膚炎における入院治療前後の黄色ブドウ球菌トキシン産生について	125
末廣 豊 亀崎 佐織 福井 徹哉 高橋美由紀 香川 昌平	
17. アトピー性皮膚炎皮疹部の黄色ブドウ球菌に対するイソジン [®] の消毒効果 —スタンプ法による検討—	130
檜澤 孝之 佐野ほづみ 遠藤 薫 吹角 隆之 片岡 葉子 青木 敏之	
18. ポビドンヨードはアトピー性皮膚炎の皮疹に効くか	134
檜澤 孝之 佐野ほづみ 遠藤 薫 吹角 隆之 片岡 葉子 青木 敏之	
質疑応答者名簿	140
索引	

第4回 シンポジウム記録 アトピー性皮膚炎に対するステロイド療法

皮膚第41巻 増刊21号

特別演題、ステロイドレセプターによる遺伝子の発現制御機構	1
梅園 和彦	
S-1. アトピー性皮膚炎のステロイド外用療法	3
玉置 邦彦	
S-2. 重症アトピー性皮膚炎に対するステロイド短期内服療法 —治療の実際と問題点—	6
杉浦 久嗣	
S-3. アトピー性皮膚炎と免疫反応	10
塩原 哲夫	
S-4. ステロイドホルモンと IgE 産生	17
木俣 肇	
S-5. ステロイドの皮膚への影響	22
片山 一朗	
S-6. ステロイド外用剤の副作用	26
玉置 昭治	
S-7. アトピー性皮膚炎の眼症状	31
清澤 源弘	
1. アトピー性皮膚炎に罹患した経験がある皮膚科医のステロイドに対する意見	37
遠藤 薫 檜澤 孝之 吹角 隆之 片岡 葉子 青木 敏之	
2. アトピー性皮膚炎に罹患している熊本大学生のステロイド外用剤に対する意識調査	43
城野 昌義 若杉 正司 出田 透 小野 友道	
3. アトピー性皮膚炎患者におけるステロイド外用に対する意識調査	48
清島真理子 和泉 智子 加納 宏行	
4. アトピー性皮膚炎患者のステロイド外用剤使用量と臨床経過の検討	53
相原 道子 池澤 善郎	
5. アトピー性皮膚炎長期観察患者におけるステロイド外用剤年間使用量の推移	59
平野 真也 池永 健治 末廣 晃宏 加藤 則人 安野 洋一	
6. アトピー性皮膚炎の入院治療におけるステロイド外用薬使用の評価	64
渕原 一哉 音山 和宣 横関 博雄 西岡 清	
7. ステロイド内服療法を選択したアトピー性皮膚炎	70
藤井 一恭 多田 讓治 戸井洋一郎 秋山尚範 荒田 次郎	
8. アトピー性皮膚炎患者より樹立した単球系細胞株の活性化に対するステロイドの影響	75
濱本 嘉昭 永井 浩 一宮 誠 安井 宏夫 武藤 正彦	
9. 成人アトピー性皮膚炎患者における外用ステロイド治療と血清 IgE 値	79
竹内 吉男	

10. ADH(抗利尿ホルモン)を指標とした、ステロイド(CS)長期外用療法の視床下部
一下垂体-副腎系に及ぼす影響と中止後のリバウンド現象についての検討
——ステロイド外用療法は正しいか?—— 86
島津(幸寺) 恒敏
11. ステロイド離脱療法と除去食療法により症状が悪化した妊婦アトピー性皮膚炎の1例 97
杉浦真理子 早川 律子
12. 患者の意向を尊重してステロイド外用を中止し、環境指導とスキンケア
治療により良好にコントロールできた100例の検討 102
宮原 裕子 今山 修平 棚橋 朋子 上村 陽子
安元慎一郎 寺尾 浩 内 博史 古江 増隆
13. 「成人型アトピー性皮膚炎」の脱ステロイド、脱保湿剤の名古屋での経験 108
佐藤 健二

索引

第5回 シンポジウム記録

アトピー性皮膚炎と化学物質

皮膚第42巻 増刊22号

1. アトピー性皮膚炎患者の頭皮乾燥に対するヨモギエキス含有ローションの応用	1
杉浦真理子　早川　律子　杉浦 啓二	
2. 新築住宅入居後に悪化したアトピー性皮膚炎	5
深谷　元継	
3. アトピー性皮膚炎患者におけるホルマリン RAST の測定意義	10
檜澤　孝之　北村　利華　遠藤　薰　吹角　隆之　片岡　葉子 青木　敏之	
4. 水銀とアトピー性皮膚炎 —歯科金属（水銀アマルガム）が小児アトピー性皮膚炎発症に及ぼす影響についての疫学的検討—	15
島津（幸寺）恒敏	
5. アトピー性皮膚炎と歯科金属・レジンアレルギー —抗原特異的リンパ球幼若化反応による検討—	22
島津（幸寺）恒敏　高　永和	
6. 民間療法と小児アトピー性皮膚炎	31
橋本　里香　早川　律子　加藤　佳美　杉浦真理子	
7. 思春期・成人期アトピー性皮膚炎の疫学的解析	36
古江　増隆　寺尾　浩　古賀　哲也	
8. 保湿剤の皮膚安全性	41
杉浦真理子　早川　律子　加藤　佳美　杉浦 啓二　橋本　里香 小川　浩	
9. 成人型アトピー性皮膚炎における外用剤接触皮膚炎	46
佐藤　健二	
10. アトピー性患者におけるパッチテスト結果	49
鈴木加余子　松永佳世子　鶴田　京子　富高　晶子　鷲見　康子 秋田　浩孝　鈴木　理絵　杉浦　啓二　陳　友一　清水　善徳 竹内　誠　上田　宏　梅村　芳樹	
11. アトピー性皮膚炎患者のパッチテスト成績について	58
関東　裕美　田場　昌子　秋元　留理　鷲崎久美子　伊藤　正俊	

12. アトピー性皮膚炎患者における金属パッチテスト成績の検討 68
近藤 恵 田中 良知 山本 美穂 高橋さなみ 大沼 すみ
相原 道子 池澤 善郎
13. 皮膚科医の立場からみたアトピー性皮膚炎のスキンケア、外用療法 75
西岡 和恵
14. 製品開発からみたアトピー性皮膚炎のためのスキンケア 84
大津 吉朗

索引

第6回 シンポジウム記録 アトピー性皮膚炎と食物

皮膚第43巻 増刊23号

特別講演. 食物アレルギーと遺伝	1
近藤 直実	
S-1-1. 食物アレルギーの疫学	5
飯倉 洋治 今井 孝成	
S-1-2. アトピー性皮膚炎における食物アレルギーの疫学 (実態調査) 一皮膚科から一	10
川口 博史 牧 万理子 古江 増隆 青木 敏之 荒田 次郎	
片岡 葉子 金子 史男 清水 良輔 玉置 昭二 早川 律子	
宮地 良樹 向井 秀樹 諸橋 正昭 山本 昇壯 池澤 善郎	
S-1-3. アトピー性皮膚炎における食物アレルギーの実態 一小児科外来から一	15
柴田瑠美子	
S-2-1. アレルギーにおける粘膜免疫の制御機構	19
清野 宏 末延 則子 権 美那	
S-2-2. 食物抗原がアトピー性皮膚炎に与える影響 (動物モデルを使った検討)	22
大村 銀代 片村 憲司 古川 福実	
S-2-3. アレルギー反応抑制と食物質	26
上野川修一	
S-3-1. アトピー性皮膚炎における食物アレルギーの診断と治療 一即時型食物アレルギーの診断と治療	30
伊藤 節子	
S-3-2. 遅延型食物アレルギーの診断と治療	34
近藤 直実	
S-3-3. アトピー性皮膚炎における食物アレルギーの診断と治療： 皮膚科の視点	37
青木 敏之	
S-3-4. 食物アレルギーのアウトグロー	43
山田 一恵 宇理須厚雄	
1. ソバアレルギーを発症したラテックス-フルーツ症候群の1例	48
長井 泰樹 江畑 俊哉 中田 良子 上出 良一 新村 真人	
宮島 雅行	
2. プラセンタエキスを含む健康食品の経口摂取により憎悪をみた成人型アトピー性皮膚炎の1例	53
鶴見 浩史 渥原 一哉 横関 博雄 西岡 清	
3. アトピー性皮膚炎の不定期的悪化における食物の関与	58
植西 俊浩 上原 正巳	

4. 乳児アトピー性皮膚炎の臨床経過と食物RASTの関係	59
吹角 隆之 檜澤 孝之 遠藤 薫 片岡 葉子	
5. 幼児アトピー性皮膚炎の疫学	60
田中 良知 竹内 瑞恵 宮沢めぐみ 高橋 一夫 川口 博史 石井 則久 池澤 善郎	
6. アトピー性皮膚炎におけるステロイド外用薬の使用調査	62
古江 増隆 力久 航 寺尾 浩 古賀 哲也 絹川 直子 野瀬 善明	
7. 成人アトピー性皮膚炎患者の小麦特異的IgEと皮内反応	67
角田 孝彦	
8. アトピー性皮膚炎への食物アレルギーの関与の検討	71
高路 修	
9. アトピー性皮膚炎における腹部症状とその治療	76
山田 秀和 杉原 和子 柳下 晃一 弓立 達夫 松倉 正治 手塚 正	
10. 食物抗原特異的リンパ球幼若化反応からみた、乳児アトピー性皮膚炎患者での除去食療法とその問題点	80
島津(幸寺) 恒敏	
11. 食物アレルギーを伴った乳幼児アトピー性皮膚炎の制限された食物の解除の方法と問題点	87
遠藤 薫	
12. 乳幼児アトピー性皮膚炎患児の食物除去の実態および皮疹の長期予後との関係について	93
早川あづさ 平野 真也 加藤 則人 安野 洋一 松尾 裕行 細井 創 澤田 淳	
13. 食物依存性運動誘発アナフィラキシーにおけるアスピリンの関与	97
宮沢めぐみ 相原 道子 杉本 真純 大砂 博之 高倉 桃子 秋山 朋子 浅古 佳子 岡野絵里子 佐藤 一郎 近藤 恵 和田 秀文 高橋さなみ 山川 有子 大沼 すみ 宮川加奈太 相原 雄幸 池澤 善郎	
14. 卵による尋麻疹を合併したアトピー性皮膚炎の1例	99
杉浦真理子 早川 律子 杉浦 啓二 橋本 里香 社本 幹博	
15. 誘発テストにて興味深い結果が得られた食物アレルギーの2例	103
竹中 基 原 肇秀 片山 一朗	
16. 口腔アレルギー症候群とアトピー性皮膚炎	107
原田 登由 富高 晶子 鈴木加余子 鶴田 京子 赤松 浩彦 松永佳世子	

皮膚の科学

Vol.1 Suppl.1 AUG. 2002

「皮膚科領域におけるマクロライド新作用の検証」

黄色ブドウ球菌のバイオフィルムに対する

ロキシスロマイシンの効果 山崎 修他 1

黄色ブドウ球菌のスーパー抗原産生に対する抗菌剤の影響 安達ゆかり他 8

ロキシスロマイシンの好中球機能に及ぼす影響 赤松 浩彦 15

アンドログンレセプター・コアクティベーターHic-5/ARA55を介した

痤瘡のサイクリックな病態モデル

一ロキシスロマイシンの新しい作用の可能性— 乾 重樹 他 19

ヒト角化細胞の遺伝子発現に及ぼすロキシスロマイシンの効果 沈 春参 他 23

好酸球由来神経成長因子のロキシスロマイシンによる調節作用 豊田 雅彦 他 27

ロキシスロマイシンの皮膚免疫調整作用 戸倉 新樹 他 32

線維芽細胞に発現するカドヘリン分子に対する

ロキシスロマイシンの影響 松吉 徳久 他 36

尋常性痤瘡に対するマクロライド療法 赤松 浩彦 41

掌蹠膿疱症に対するマクロライド療法の臨床応用と表皮角化細胞の

ケモカイン産生に与えるロキシスロマイシンの影響についての検討 松永 義孝 他 46

皮膚疾患に対するマクロライド療法とその作用機序 小宮根真弓 他 50

発編
行集
人兼
手
塚

正

印発
刷行
所所日本皮膚学会大阪地方会・高速印刷株式会社
あさひ高速印刷株式会社振大吹
替阪田市山田庄二
口大学医学部皮膚科学教室
00900-0-94236

北里一、五百五

皮膚の科学

Vol.1 Suppl.2 DEC. 2002

アトピー性皮膚炎治療研究会第7回シンポジウム「痒みと搔破行動」

特別講演	バリア破壊モデルマウスにおける痒み関連行動とそのメカニズム	倉石 泰他	1
	ハプテン反復塗布によるマウスの皮膚炎と搔破行動	稻垣 直樹 他	5
指定講演	アトピー性皮膚炎の病態形成における搔破の意味	片山 一朗	9
	痒みと搔破行動	青木 敏之	13
	アトピー性皮膚炎患者のストレスと搔破行動	羽白 誠	19
	アトピー性皮膚炎の搔破に対する心療内科からのアプローチ	川原 健資	23
	アトピー性皮膚炎の搔破に対する内服療法	江畑 俊哉	29
	アトピー性皮膚炎の搔破に対する理学療法	豊田 雅彦 他	35
	アトピー性皮膚炎の搔破に対する外用療法	古江 増隆	43
一般演題	VASスケールにおける搔破とそう痒について	山田 秀和 他	45
	痒疹型アトピー性皮膚炎における痒みと搔破 ：経口的悪化因子の関与について	植西 敏浩 他	49
	成人型アトピー性皮膚炎患者における高血漿浸透圧下 での抗利尿ホルモン異常高値	佐藤 健二 他	51
	アトピー性皮膚炎患者の痒みの経過	隅田さちえ 他	53
	小児白血病に対する造血幹細胞移植施行後アトピー性皮膚炎の 再発・再燃あるいはアトピー性皮膚炎様皮疹をみた3症例	田中 摩弥 他	57
	アトピー性皮膚炎患者の皮疹の程度と心理状態に関する検討	小川 浩 他	61
	アトピー性皮膚炎専門外来での自己記入式心理検査の活用	境 玲子 他	67
	血漿交換療法をおこなったアトピー性皮膚炎の2例	竹中 基 他	69
	アトピー性皮膚炎患者における搔破抑制のための装具の有用性について	檜澤 孝之 他	71
	タクロリムス軟膏によるアトピー性皮膚炎患者のかゆみと搔破の制御	平野 真也 他	75

 発編
行集
人兼
手塚

正
印発
刷行
所所

日本皮膚学会大阪地方会・京滋地方会
（株）診療新社

 振大
替阪
口大
座學
医学
部皮
膚科
教室
00900-0-9436

 定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.2 Suppl.3 DEC. 2003

アトピー性皮膚炎治療研究会第8回シンポジウム記録「Evidence-based medicine」

指定演題	アトピー性皮膚炎に対するEBMによる評価（総論）	幸田 健	1
	抗アレルギー薬（第2世代抗ヒスタミン薬）の評価	溝口 昌子他	11
	ステロイド外用薬のEBMによる評価	大矢 幸弘	15
	タクロリムス外用薬のEBMによる評価	鳥居 秀嗣	27
	アレルゲンとアレルゲン除去療法のEBMによる評価	柴田瑠美子	31
	紫外線療法のEBMによる評価	高森 健二他	36
	EBMによるスキンケアの再評価	田中 稔彦	40
	漢方療法のEBMによる評価	諸橋 正昭他	44
	民間療法におけるEBMの評価	中村晃一郎他	49
	アトピー性皮膚炎のQOLとEBM	片岡 葉子	52
	アトピー性皮膚炎の心身症に関する質問紙とガイドライン	羽白 誠	57
特別講演	Skin Barrier Function and Atopic Dermatitis	Do-Won Kim	62

発編
行集
人兼
手塚
正
印発
刷行
所
日本皮膚学会
大阪地方会
高速印刷株式会社
あさひ
高速印刷株式会社
会
社会

振替
大田
口座
大学
医学
部皮膚
科二
00900-0-94236

定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.3 Suppl.4 DEC. 2004

アトピー性皮膚炎治療研究会 第9回シンポジウム記録「小児アトピー性皮膚炎をめぐって」

指定演題

セッション1 小児アトピー性皮膚炎の疫学および病態生理

乳幼児アトピー性皮膚炎の疫学（頻度と要因）	柴田瑠美子	1
乳児を除く小児アトピー性皮膚炎の疫学（頻度と要因）	占部 和敬	5
長崎県下におけるアトピー性皮膚炎の疫学調査	竹中 基他	13
小児アトピー性皮膚炎の病態	片山 一朗	19

セッション2 増悪因子と対策

スキンケアと搔破予防対策	末廣 豊他	24
アトピー性皮膚炎における細菌の関与		
—歴史的流れからみたそのかわりの複雑性—	戸倉 新樹	28
食物の関与と対策	宇理須厚雄	33
吸入アレルゲン（ダニを含む）の関与と対策	山田 秀和	38
小児アトピー性皮膚炎における接触皮膚炎の関与と対策	松永佳世子他	43
小児アトピー性皮膚炎におけるストレスの関与とその対応	羽白 誠	48

セッション3 小児アトピー性皮膚炎の治療

小児アトピー性皮膚炎治療のエンドポイント	高路 修	53
小児（乳幼児を含む）アトピー性皮膚炎治療における		
ステロイド外用薬：問題点の整理	片岡 葉子	57
タクロリムス外用薬	中川 秀己	63
乳幼児アトピー性皮膚炎の特徴とスキンケア治療	今山 修平他	68
小児アトピー性皮膚炎の治療 心理・行動科学療法	大矢 幸弘	76

一般演題

乳幼児期のアトピー性皮膚炎発症に関する環境因子の検討

一気管支喘息発症群と比較して	増田 進他	81
アトピー性皮膚炎における黄色ブドウ球菌産生毒素（スーパー抗原）の意義	杉本 和夫他	86
小児アトピー性皮膚炎の不定期的悪化における食物の関与	植西 敏浩他	93
3歳時点でのアトピー性皮膚炎の有病率（保健所の乳幼児健診1年を通して）	田中 良知他	98
浜松医科大学皮膚科におけるアトピー性皮膚炎教育入院一小児患者に対する効果	町田 秀樹他	99

発編
行集
人兼
手塚

正

印発
刷行
所所日本皮膚学会大阪地方会・京滋地方会
高速印刷株式会社振大吹替阪田口大学市医学部田皮膚科学教室
009001-0-9423定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.4 Suppl.5 OCT. 2005

アトピー性皮膚炎治療研究会

第10回シンポジウム記録「ディベート2005—アトピー性皮膚炎の治療マーカーを考える—」

治療マーカーとしての重症度分類、皮膚症状の評価システム 高路 修 1

セッション1 臨床症状

1 合併症から見た治療反応性

- アトピー性皮膚炎の鑑別診断～3つの診断基準～ 三橋善比古 7
 アトピー性皮膚炎の治療マーカー：皮膚乾燥とフィラグリン 杉浦 久嗣 他 12
 アトピー性皮膚炎における鼻粘膜反応性 萩野 敏 19

2 自覚症状と治療反応性

- 心身医学的評価 羽白 誠 25
 心理社会的因子と治療反応性（抑鬱状態を中心として） 片岡 葉子 31
 かゆみ（VAS）の評価 山田 秀和 他 35
 不安はTh2シフトを加速する 橋爪 秀夫 41
 治療マーカーとしてのQOLの評価 檜垣 祐子 48

セッション2 治療

1 外用剤と治療効果

- 外用薬と治療効果
 ステロイドの効く症例、効かない症例 相原 道子 53
 アトピー性皮膚炎におけるグルココルチコイド感受性と活性の調節
 一生体と薬剤の両面から 乾 重樹 59
 FK506軟膏の使用法と治療効果 井川 健 他 63
 アトピー性皮膚炎内服薬の治療効果—
 その評価と問題点（抗ヒスタミン薬を中心として） 幸野 健 69

セッション3 小児アトピー性皮膚炎の治療

1 臨床検査：血液検査

- アトピー性皮膚炎・治療マーカーとしての検査値（IgE, TARC等） 中村晃一郎 75
 アトピー性皮膚炎の治療マーカーとしての検査値
 —MDC, CTACK— 佐伯 秀久 他 81
 アトピー性皮膚炎の治療マーカーとしての検査値：神経系因子 豊田 雅彦 87

2 臨床検査：微生物検査

- アトピー性皮膚炎における皮膚細菌叢の推移と治療効果 岩月 啓氏 他 94
 アトピー性皮膚炎患児に対するイソジン消毒療法の両親による評価 青木 敏之 99
 皮膚真菌症とアトピー性皮膚炎 清 佳浩 109

セッション4 皮膚検査

1 皮膚機能検査：治療マーカーとしての意義

- かゆみの知覚検査を中心に：治療マーカーとしての意義 生駒 晃彦 116
 アトピー性皮膚炎患者におけるヒスタミン誘発性反応 竹中 基 他 122
 末梢血好塩基球からのヒスタミン遊離試験によるアトピー性皮膚炎患者の
 汗に対する過敏性試験 田中 稔彦 他 128
 アトピー性皮膚炎における汗の意義：
 定量的発汗機能検査（QSART）による検討 片山 一朗 他 133

- アトピー性皮膚炎における全身平均経表皮水分喪失量測定の臨床的意義 青木 敏之 139
 発汗試験、TEWL試験：アトピー性皮膚炎における汗の意義 早川 順 142

2 皮膚のアレルギー検査：除去対策の治療効果

- 皮膚のアレルギー検査：除去対策の治療効果
 パッチテスト（アレルギー性接触皮膚炎） 松永佳世子 146
 刺激性皮膚炎（シャンプー等） 横関 博雄 149
 ダニ抗原パッチテストによる診断と評価 今山 修平 151
 食物アレルギーと乳幼児アトピー性皮膚炎患者のプリックテストについて 清水 正之 153

発編
行集
人兼
手塚
正印
印發
刷行
所所
あ日本皮膚科学会大阪地方会
さひ高連地印刷株式会
ひ速印刷会
高連地印刷株式会
連地印刷会
振大吹替阪田口大學市座医学部田丘科学教二
00900-0-94236
定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.5 Suppl.6 Feb. 2006

bFGF創傷治癒研究会

Basic Fibroblast Growth factor (bFGF) の皮膚微小血管内皮細胞遊走に 関する影響とその細胞内シグナル伝達経路についての解析	八幡 陽子 他	1
皮膚線維化の機序とモデルマウス	中條 園子 他	7
ケラチノサイトの細胞増殖に与えるbFGFの効果について	久保美代子 他	16
ヒト真皮線維芽細胞の体の部位による形質の違い：塩基性線維芽細胞 増殖因子 (bFGF) に対する反応性の検討	安田 正人 他	21
塩基性線維芽細胞増殖因子により惹起されるコラーゲンゲル収縮における 細胞内シグナル伝達系の解析	安部 正敏 他	26
血清bFGF濃度の上昇する病態	菊池 かな子	32
ヒト皮膚再構築モデルと家兎耳介皮膚欠損モデルを用いたbFGF (フィブラストスプレー®) の創傷治癒促進効果の解析	新井圭太郎 他	35
細胞接着分子欠損による創傷治癒遅延：細胞増殖因子の効果について	佐藤 伸一	40
人工真皮と塩基性線維芽細胞増殖因子を用いた骨・軟骨露出創の治療	韋月 玲子 他	46

発行人兼手塚

正

印刷所

日本皮膚科学会大阪地方会・京滋地方会
あさひ高速印刷株式会社振替大阪口座
009001-0-94236定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.5 Suppl.7 Nov. 2006

アトピー性皮膚炎治療研究会 第11回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎の難治化をめぐって」

セッション1. アトピー性皮膚炎の難治と免疫・アレルギー機序に関する問題

指定演題1 IgEとアトピー性皮膚炎 佐藤 伸一 1

指定演題2 アトピー性皮膚炎の治療と免疫・アレルギー機序に関する問題

T細胞とアトピー性皮膚炎（環境汚染物質による免疫変調作用）

..... 相場 節也 5

指定演題3 アトピー性皮膚炎とサイトカイン 片山 一朗 他 11

指定演題4 アトピー性皮膚炎と好酸球の関係 照井 正 17

指定演題5 ケモタキシスと治療 中村晃一郎 21

セッション2-1. アトピー性皮膚炎の悪化因子と環境要因

指定演題6 環境化学物質とアトピー性皮膚炎 高橋 一夫 24

指定演題7 アトピー性皮膚炎を難治化させる黄色ブドウ球菌定着・感染症 岩月 啓氏 他 29

セッション2-2. アトピー性皮膚炎の悪化因子と環境要因

指定演題8 接触アレルギーとアトピー性皮膚炎 松永佳世子 33

指定演題9 日光とアトピー性皮膚炎 堀尾 武 34

指定演題10 痒みとアトピー性皮膚炎 高森 健二 38

指定演題11 痒みとアトピー性皮膚炎：かゆみ過敏の側面から 生駒 晃彦 39

セッション3-1. 治療はどこまで進んだか？

指定演題12 抗アレルギー剤(塩酸オロパタジン)のアトピー性皮膚炎患者末梢血単核球の
TARC/CCL17およびMDC/CCL22産生に対する影響 古川 裕利 43

指定演題13 タクロリムスとステロイド 古江 増隆 他 47

指定演題14 治療はどこまで進んだか シクロスボリン 五十嵐敦之 52

セッション3-2. 治療はどこまで進んだか？

指定演題15 STAT6デコイによる治療法の可能性 横関 博雄 57

指定演題16 NF κ B decoy ODNの治療の可能性 玉井 克人 62

発編
行集
人兼
手塚
正

日本皮膚
学会
さひ
高
速
印
刷
株
式
会
社

振大吹
替阪庄
口大座
市医学
部皮丘
科学教室
00900-0-94236

定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.6 Suppl.8 Mar. 2007

難治性アトピー性皮膚炎研究会

他の抗アレルギー剤治療が無効であった難治性アトピー性皮膚炎患者に

対するトシル酸スプラタストの治療効果 松村 由美他 1

アトピー性皮膚炎におけるTh2サイトカイン阻害薬投与による

IgE産生抑制効果の検討 北場 俊他 8

アトピー性皮膚炎におけるトシル酸スプラタスト投与による

臨床効果の検討 松本 義也他 15

トシル酸スプラタスト補助療法により臨床症状改善に至った

好酸球增多症候群の1例 松村 由美他 21

アトピー素因を有する円形脱毛症における

トシル酸スプラタスト（アイピーディ[®]）の効果 北場 俊他 25

他剤治療が無効であった難治性アトピー性皮膚炎患者に対する

アイピーディ[®]の治療効果 岸岡亜紀子他 29

前治療抵抗性アトピー性皮膚炎に対するTh2サイトカイン阻害薬

の有用性の検討—QOL評価を中心に— 丹生名都子他 33

アトピー性皮膚炎患者に対するアイピーディ[®]カプセルの効果 深川 修司他 38

トシル酸スプラタストが著効した成人型アトピー性皮膚炎：

トシル酸スプラタストの有効性と他の抗アレルギー薬との補完性 伊豆 邦夫他 45

成人型アトピー性皮膚炎における好酸球および血清中ケモカインに

対するトシル酸スプラタストの効果に関する検討 竹中 基他 49

難治性アトピー性皮膚炎患者でのアイピーディ[®]使用経験

—血清IgE値正常患者での著効例— 片桐 一元 54

発編
行集
人兼
手塚
正
印発
刷行
所
あさひ高速印刷株式会社
日本皮膚学会大阪地方会・京滋地方会
高
速
印
刷
株
式
会
社

振大吹替口大医学市医山田医学部皮膚丘二二
阪田座
0900-0-94236

定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.6 Suppl.9 DEC. 2007

アトピー性皮膚炎治療研究会第12回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎と光」

指定演題	「皮膚の免疫の応答から見たアトピー性皮膚炎の治療： 紫外線療法の考え方とその展望」.....片山 一朗1	発編 行集 人兼 手 塚
	アトピー性皮膚炎への奏功機序からみたNarrow band UVBと PUVA療法のケラチノサイトに対する影響.....戸倉 新樹6	正
	アトピー性皮膚炎とサイトカイン —紫外線療法の影響に関して—.....長谷川 稔11	印発 刷行 所所
	アトピー性皮膚炎に対する内服PUVA療法.....吉池 高志16	あ さ ひ 高 速 印 刷 株 式 会 社
	アトピー性皮膚炎に対する外用PUVA療法.....川原 繁他17	日本 皮膚 科 學 會 大 阪 地 方 會 · 京 滋 地 方 會 社
	アトピー性皮膚炎に対するUVA1療法.....根本 治21	振 大 吹 替 阪 庄 口 大 学 市 座 医 學 部 皮 膚 科 學 教 室 06600-194236
	アトピー性皮膚炎に対するナローバンドUVB療法.....森田 明理 他26	定 価 一、 五〇〇円
	Broadband UVBの低量・低頻度照射によるアトピー性皮膚炎 治療の試み：本邦に医院・一般病院における紫外線治療の 現状についての考察.....義澤 雄介32	
	「アトピー性皮膚炎に対する紫外線療法」に関するアンケート の集計結果報告.....大磯 直毅 他38	
	アトピー性皮膚炎患者の紫外線対策.....上出 良一43	
	アトピー性皮膚炎における睡眠障害と光療法.....山田 秀和 他44	

皮膚の科学

Vol.7 Suppl.10 OCT. 2008

アトピー性皮膚炎治療研究会第13回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎の予防と早期介入」

指定演題	アトピー性皮膚炎の病態からみた早期介入の意味	戸倉 新樹	1
	地域による疫学調査（中国、チベット、日本）	澄川 靖之	5
	衛生仮説とそのEBM	幸野 健	10
	アトピー性皮膚炎におけるダニ・アレルギーの重要性	中山 秀夫他	16
	アトピー性皮膚炎の病態と治療において黄色ブドウ球菌、 神経成長因子、反発性軸索ガイダンス分子Semaphorin 3Aが果たす役割	池澤 善郎他	24
	アトピー性皮膚炎の病態に及ぼすマラセチアの 影響と抗真菌薬の治療効果	坪井 良治	33
	アトピー性皮膚炎に対する乳酸菌の効果	藤村 韶男	38
	食物アレルギーの予知と予防	河野 陽一	45
	アトピー性皮膚炎発症誘因の分析 —予防対策のために—	青木 敏之	50
	発症因子、要因の除去による皮膚症状の改善と予防効果	横関 博雄	56
	スギ花粉飛散時に眼瞼炎をきたすアトピー性皮膚炎の 特徴と対策	浅井 俊弥	62
	アトピー性皮膚炎の治療における早期介入について —サイトカイン・皮膚炎症から見た早期介入について—	中村晃一郎	67
	重症アトピー性皮膚炎の入院療法による早期介入	金子 聰他	70
	アトピー性皮膚炎の病態から考える治療 —早期介入と展望—	向井 秀樹	76

発編
行集
人兼
手
塚
正
印発
刷行
所所
あ日本皮膚科学会大阪地方会
さひ高連印刷株式会
ひ高連印刷株式会
高連印刷株式会
速印刷株式会
印刷株式会
会社会

振大改替阪日口大医学市医山
替阪日口大医学市医山
日部皮丘
二科二
教二室二
0-990000-094233

定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol.8 Suppl.11 Feb. 2009

bFGF創傷治癒研究会(2006-2008)

三次元培養皮膚に対するbasic Fibroblast Growth Factor (bFGF) の 効果に関する検討	白方 裕司 他	1
皮膚虚血再灌流マウスモデルを用いた褥瘡形成機序の検討	斎藤 佑希 他	7
線維芽細胞増殖因子による家兎耳介軟骨膜細胞の 増殖・分化誘導作用について	小泉 尚子 他	14
Wnt4による筋分化促進作用と今後の創傷治癒への展望	田中 伸吾 他	21
ヒト真皮線維芽細胞の体の部位による形質の違い： 塩基性線維芽細胞増殖因子 (bFGF) の細胞外基質遺伝子発現への 影響と部位特異性の維持	安田 正人 他	25
bFGFによる培養ヒト皮膚線維芽細胞増殖刺激について	牧野 貴充 他	31
塩基性線維芽細胞増殖因子による創傷治癒の 質的変化に関する基礎的検討	安部 正敏 他	35
顆粒変性とbasic FGF	小宮根真弓 他	42
ブレオマイシン反復注射による皮膚硬化創傷治癒遅延マウスにおける bFGF (フィプラス [®] スプレー) の創傷治癒促進効果の解析	前田 龍郎 他	46
CD19欠損による創傷治癒遅延と細胞増殖因子の効果について	岩田 洋平 他	52

 発編
 行集
 人兼
 手
 塚
 正
 印刷
 所所
 あ日本皮膚科學會大阪地方會
 さひ高速印刷株式會
 ひ大地方會
 ひ速印株式會
 ひ速印株式會
 あ日本皮膚科學會大阪地方會
 さひ高速印刷株式會
 ひ大地方會
 ひ速印株式會
 あ日本皮膚科學會大阪地方會
 さひ高速印刷株式會
 ひ大地方會
 ひ速印株式會

 振大吹替
 替阪大市
 口大學市
 座山丘
 医學部皮膚科
 二二
 一
 九九〇〇一
 一六四二
 九三三二

皮膚の科学

Vol.8 Suppl.12 DEC. 2009

アトピー性皮膚炎治療研究会第14回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎への心身医学的アプローチ」

会長講演 アトピー性皮膚炎への心身医学的アプローチ 片岡 葉子 581

指定演題 心身相関の基礎医学

脳・免疫系連関とストレス応答 片渕 俊彦 586

皮膚のストレス応答から考えるアトピー性皮膚炎の治療指針 片山 一朗 他 595

ストレス適応破綻の神経生理学的基盤 岡本 泰昌 他 603

ストレスとストレスマネジメント

アトピー性皮膚炎の増悪因子となるストレッサー 上出 良一 611

アトピー性皮膚炎への心身医学的アプローチ：
認知行動的ストレスマネジメントの効用を考える 坂野 雄二 617

アトピー性皮膚炎診療における心身医学の実践・応用

アトピー性皮膚炎における心身医学的対応のポイント：総論 羽白 誠 625

ブリーフセラピーを応用したアトピー性皮膚炎の治療 清水 良輔 630

アトピー性皮膚炎に対する外来森田療法 細谷 律子 636

チーム医療

アトピー性皮膚炎乳幼児と
その家族を支えるチーム医療における看護師の役割 カルデナス 晓東 643

アトピー性皮膚炎患者の日常生活における療養支援 藤原 由子 649

アトピー性皮膚炎患者を対象とした
集団心理療法の開発と普及における課題
～予備研究の結果から～ 筒井 順子 654

「地域で学ぶアトピー性皮膚炎の子どもを支える
ネットワークづくり～支援学校（病弱）の果たす役割～」 土口千恵子 660

公募演題 精神的不安およびうつ状態がアトピー性皮膚炎に及ぼす影響
－免疫系および夜間搔破行動について 渡辺千恵子 他 667

アトピー性皮膚炎患者における皮膚疾患特異的QOL評価 内 小保理 他 680

慢性ストレスは正常マウスよりADマウスに対し、
より多くの肥満細胞脱颗粒を引き起こし、
皮膚組織中サブスタンスPを上昇させる 山北 高志 他 687

急性ストレスによる皮膚バリア機能障害 片桐 一元 他 690

事例検討 心理的ストレスが増悪因子と考えられたアトピー性皮膚炎の3例 吉良 正浩 他 696

次第に難治化した理由がパワーハラスマントであったと
考えられるアトピー性皮膚炎の1例 青木 敏之 702

アスペルガー障害、学習障害を合併したアトピー性皮膚炎の一例
－成長と共に生じた問題と対応の苦慮－ 前田 七瀬 他 707

発編
行集
人兼
堀口
裕治

印刷
行所

あさひ
高速
印刷株式会社

振大
替阪
口大
学医
学部皮
膚科
教室

定価
一
五〇〇円

皮膚の科学

Vol.9 Suppl.13 Feb. 2010

マクロライドが有効な皮膚疾患とその奏効機序の検証

ロキシスロマイシンによるケラチノサイトのTh2ケモカイン産生抑制

およびTh2細胞のケモカインレセプターの発現抑制 小林 美和他 1

水疱性類天疱瘡における

ロキシスロマイシン・ニコチン酸アミド併用療法 小野 文武他 6

ロキシスロマイシンによるマウス血管内皮細胞間株 (F-2) の

細胞間接着性に対する作用の検討 松吉 徳久他 11

ロキシスロマイシンによる痒疹の治療例 石田 祐哉他 17

経口抗菌薬のメラニン産生系に及ぼす影響 赤松 浩彦他 20

ロキシスロマイシンを併用した壞疽性膿皮症の3例 村上 正文他 24

HaCaT細胞からのThymus and activation-regulated chemokine

(TARC)/CCL17産生は、NF κ B, p38, EGF受容体により
制御され、ロキシスロマイシンにより抑制される 小宮根真弓他 30

痤瘡の増悪機序に関する神経系因子に対する

ロキシスロマイシンの作用：ミノサイクリンとの比較 豊田 雅彦他 35

発編
行集
人兼
堀口
裕治

印刷
所所

あさひ
日本皮膚科学会大阪地方会・高速印刷株式会
日本皮膚科学会大阪地方会・京滋地方社会振替
口座
大分市
医学部皮膚科二
二
00900-0-94236定価
1,500円

皮膚の科学

Vol.9 Suppl.14 Jun. 2010

酒皀、掌蹠膿疱症、痒疹、水疱性類天疱瘡へのマクロライドの作用機序とその有効性

ロキシスロマイシンの掌蹠膿疱症病変部S100A9蛋白発現に

及ぼす影響 白藤 宜紀 他 1

正常人の血管内皮細胞における細胞接着分子発現に対する

ロキシスロマイシンの効果 裴 祥宰 他 6

ロキシスロマイシンの水疱性類天疱瘡に対する治療効果の検討 樋口 雅子 他 11

ロキシスロマイシンの皮膚自然免疫調整作用 小林 美和 他 17

掌蹠膿疱症に対するロキシスロマイシンの有効性 小宮根真弓 他 21

ロキシスロマイシン短期投与の痒疹に対する臨床効果 生駒 晃彦 他 25

酒皀に対するロキシスロマイシン内服の有効性に関する検討 玉置 邦彦 他 31

ホルモン学的にみたロキシスロマイシンの抗アクネ効果 乾 重樹 他 36

発編
行集
人兼
堀 口
裕治印発
刷行
所所日本皮膚学会大阪地方会・京滋地方会
あさひ高速印刷株式会社振大吹
替阪田市
口大學医学部皮膚科教室
庄二一
00900-0-94236北國
一、日〇日

皮膚の科学

Vol.9 Suppl.15 NOV. 2010

アトピー性皮膚炎治療研究会第15回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎と漢方治療」

会長講演	アトピー性皮膚炎の自然史	山田 秀和	1	発編 行集 人兼 堀 口 裕治
特別講演				
	特別講演 1 漢方薬のアレルギー性皮膚疾患への応用	済木 育夫	6	
	特別講演 2 アトピー性皮膚炎の漢方治療の実際	花輪 壽彦	15	
指定演題				
	指定演題 1 アトピー性皮膚炎の漢方療法：EBMの観点からの評価	豊田 雅彦	22	
	指定演題 2 アトピー性皮膚炎患者における心身一如の東洋医学的治療の実際	新谷 卓弘 他	28	
	指定演題 3 マウスマトピー性皮膚炎モデルを用いた漢方方剤の評価	稻垣 直樹	34	
	指定演題 4 アトピー性皮膚炎治療における食養と補剤併用の意義	小林 裕美 他	42	印発 刷行 所所 あ日本皮膚科 さ高学会 ひ速大阪地 高速印刷株 速印刷株式 会社会
	指定演題 5 アトピー性皮膚炎患者における抑肝散加陳皮半夏の効果 ～イライラ感や不眠など精神神経症状の改善に着目して～	弓立 達夫	48	
	指定演題 6 アトピー性皮膚炎に対する白虎加人参湯の効果	夏秋 優	54	
	指定演題 7 アトピー性皮膚炎の漢方治療 ～皮疹に対する治療を中心にして～	高橋 邦明 他	61	
一般演題				
	一般演題 1 補中益氣湯、柴胡加竜骨牡蠣湯、温清飲の3剤併用療法による 自他覚所見の改善により社会活動性の向上を獲得し得た 重症成人型アトピー性皮膚炎の長期追跡例	田宮 久詩 他	67	
	一般演題 2 三物黃芩湯のアトピー性皮膚炎への応用	高橋 邦明 他	72	
	一般演題 3 成人アトピー性皮膚炎における冷水負荷サーモグラフィを 用いた十全大補湯の効果の検討	夏秋 優	76	
	一般演題 4 顔面に強い皮疹を呈した成人アトピー性皮膚炎に対し、 補中益氣湯をはじめとした東洋医学的療法が奏効した1例	柳原 茂人 他	81	

振大吹替阪田
口大座
医学市
医学部田
皮膚科二
00900-0-94236

定価
一、五〇〇円

皮膚の科学

Vol. 10 Suppl. 16 OCT. 2011

アトピー性皮膚炎治療研究会第16回シンポジウム記録 「アトピー性皮膚炎バリア異常の新知見」

皮膚バリア機能にとって何が重要か? 山本 明美 他 1

皮膚バリア研究の新展開:

タイトジャンクションバリアとランゲルハンス細胞の視点から 久保 亮治 5

アトピー性皮膚炎で機能的バリア異常はどのくらいみられるか

高 IgE 外因性アトピー性皮膚炎 (AD) と正常域 IgE 内因性 AD の
皮膚バリア能と知覚閾値の比較 森 智子 11

アトピー性疾患の発症因子としてのフィラグリン遺伝子変異 秋山 真志 15

フィラグリン遺伝子変異マウスの知見 桧島 健治 18

フィラグリンの分解系はどうなっているのか? 日比野利彦 21

フィラグリン遺伝子変異によってなぜフィラグリンが低下するのか:

C末端領域の謎 坂部 純一 25

角化細胞カリクリエン発現および皮膚バリア 森実 真 29

外因性と内因性という区分けはアトピー性皮膚炎に必要か? 戸倉 新樹 34

バリア異常のないアトピー性皮膚炎の原因あるいはメカニズムは何か 久保利江子 38

アレルギーはバリア異常を助長させるか? 片桐 一元 41

汗アレルギーとアトピー性皮膚炎の関係はどうなっているのか 尾藤 利憲 45

アトピー性皮膚炎における発汗異常の実態: バリア機能への影響を考える 室田 浩之 50

発編
行集
人兼
堀口
裕治

印発
刷行
所所

山日本皮膚代
代皮膚科学会
印刷会
大阪地
株地方会
式京滋会
会地方
社会

振大吹替
阪田口大
医学市医山
部田丘
皮膚科二
科学教二
室二
09900-094236